

SALON

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール情報誌 Vol.156 2025年 5月号

THE PHOENIX HALL

CONTENTS

- 01 Prime Interview **郷古廉**
- 03 Phoenix Presents **Osaka Guitar Summer 2025**
ザ・フェニックスホール開館30周年記念公演
- 05 Pick Up **ザ・フェニックスホール開館30周年記念特集**
- 07 Essay **永遠のあこがれ、ラヴェル—美しいものを愛し続けた作曲家**



Prime Interview

郷古 廉

Sunao Goko



ザ・フェニックスホールにとって、郷古廉は近年とくに馴染み深い、大切なヴァイオリニストとなってきた。開館30周年を祝う今年は、デュオ・リサイタル、ピアノ・トリオ、弦楽四重奏と3つの異なる編成で、それぞれにユニークなプログラムを聴かせていく。NHK交響楽団や東京春祭オーケストラのコンサートマスターとして、近年ますます多様な音楽に臨むようになってきた彼にとっても、かなり意欲的な挑戦と言えるだろう。

ザ・フェニックスホールで4度目となるリサイタルは、3人のコンサートマスターによるシリーズの掉尾を飾って11月に登場し、オール・ショスタコーヴィチの硬派なプログラムを弾く。12月のレクチャーコンサート「ピアノ三重奏の歴史」には3回連続の出演で、チャイコフスキーとショスタコーヴィチを。先立つ7月にはホールの濃密な追悼企画に应运、西村朗の弦楽四重奏曲に集中する。大曲や難曲づくしのプログラムを眺めるだけでも、ザ・フェニックスホールが彼に寄せる信望と期待の大きさがまざまざとうかがえようものだ。

(インタビュー・文:青澤隆明)

ザ・フェニックスホールでは2017年以来、しばしば演奏を重ねていらっしゃいます。

毎年のように弾いているから、ホールに行くときちょっと落ち着きますね。お客さんとの距離が近く、ほどよい緊張感もある。弾いていて、すごく音楽に没頭できるホールだな、と毎回思っています。かなり突っ込んだプログラムができるのは、やはり貴重なことですし。

これまでのプログラムもそうですが、この夏、大阪生まれで一昨年に亡くなった西村朗さんを追悼し、彼の弦楽四重奏曲を集中して演奏されるのは、その極みのようなものですね。

これはたぶん、いままででいちばんたいへんなことになりそうです(笑)。でも、すごく楽しみ。これまで日本人の作曲家に取り組む機会があまりなかったので、個人的にも楽しみにしています。西村さんには僕も直接お会いしたことが何度かありますし。

とくに現代のレパートリーにとって、音楽全体をみる広い視野をもって、次世代の演奏家が手がけられることは非常に重要です。新たに手渡されていくことに大きな意味がある。

西村さんの作品に関しては、僕は演奏したことがないから、まだ言葉にしたいなくて、「こういうふうな景色がみえるのだろうか?」という感じかな。作品は残っていくし、その時代その時代の奏者によって、作品自体の姿もきっと変わる。未来のことを考えたら、ここで自分たちなりに、必死に考えて再現するということにも意味はあると思います。

もうちょっとジェネラルな話で言うと、現代曲のなかには人間の感情が入る隙のないような音楽もあるとは思いますが、それを人間が弾くということの意味を僕はやはり考えますね。どんなに楽譜が精緻にできていても、自分の肉をつかって演奏するのだとしたら、そこにはもちろん感情もある。弾くことに怖れもあるし、聴いている側の困惑のようなものもあって、そういう人間的な要素が欠かせないもの

だと思うんですよ。だから、ほんとうにベースの部分、音楽に向き合うという意味では、古典とあまり分け隔てなく臨みたい。

ショスタコーヴィチは没後50年になりますね。ピアノ・トリオもチャイコフスキーと合わせて弾かれますし、リサイタルではモスクワ音楽院で学んだ沼沢淑音さんとのデュオで、ツィガーノフ、アウエルバッハが編曲した「24の前奏曲」op.34、そしてヴァイオリン・ソナタop.134を選曲されています。

ショスタコーヴィチのこのソナタは前にも演奏したことがあるけれど、そのとき僕はショスタコーヴィチのシンフォニーなんて弾いたことはなかった。いろいろ本も読んで、想像した作曲家のイメージのなかで解釈して表現していたけれども、やっぱりシンフォニーを弾くと、より生々しく、作曲家の意志とか精神というのが伝わってくる。そういう生々しさみたいなもの、まるでここにいる人のような感覚がすることは、とても重要だと思う。

1月にN響でソビエフと交響曲第7番を演奏しましたが、反戦や反体制というふうな解釈が安易に前に出てくるのではなく、僕は弾いていて、彼の音楽はすごく中立的だなと思ったんです。ほんとうに考えさせる音楽なんですよ、ね。「おまえはどっちなんだ?」、「おまえはなにを考えて、どうしたいんだ?」って。結局、彼の音楽を聴いた後に残るものは「自分ってなんだろう?」という疑問なんです。

今回の曲目の組み合わせは、晩年の非常に厳しいヴァイオリン・ソナタと、若い年代のブレリュードの世界との対比も面白いと思う。

ショスタコーヴィチの表現には、陰影についても斜光みたいで、影とも光とも言えない、宙づりの感覚がありますね。その意味づけや問いかけを、聴き手に投げかける感じですか?

そういうことをお客さんと共有できたいなと思います。「結局どっちなんだ?」ということと、あとは「人間としての幸福とはなんなのか」ということをもう一回ちゃんと考えなさ

いと言われている感じが、僕はするから。いまこういう世界になって、情報が溢れかえって、みんな似たような情報をもっていて、他人が思う幸福みたいなものに自分を当てはめて、なんとなく自分が幸せなんだって思っているもの、自分が美しいと思うもの、自分が嫌だと思っものはなんなんだ?というのをほんとうに考えている人って少ないと思う。僕自身を含めてね。そういうことを考える時間になったらいいなと思います。

では最後に、郷古さんにとって幸せとはどのようなものでしょうか?

難しいな……。なにげないこと、なにげない瞬間みたいなものが、僕はいちばん幸せだなと思う。こどもたちが目の前で遊んで、食器を洗ってるときとか(笑)。あたりまえのように、妻とお茶を飲んでる時間も、いろいろなものの上に成り立っていて、非常に壊れやすいものだと僕は思ってしまう。そういうものには非常に幸せを感じます。自分でつかみに行ったものに関しては、原因があって結果があるわけだから、僕はそこにはそんなに満たされる感じはない。音楽をやっている、それぞれが弾いているということを超越して、互いに聴き合って反応しているのをいま味わっているなと思った瞬間はほんとうに幸せですよ。

それもやっぱり「ある」んですね、なにかを「する」のではなくて。

そうですね。自分の力で実現したものって、なんか空しいじゃないですか?

でも、こういう演奏会で作品に向き合って、それを乗り越えたときに、以前の自分を更新したみたいな気持ちになるのはすごく嬉しいです。音楽を、芸術をやっていて良かったと思う。それを達成するには挑戦しないと、やったことがないことをやり続けていなければいけないですね。



今後の出演公演

■3団体合同企画 曲がった家を作る人ー故郷に響く西村朗の音楽<弦楽四重奏>

2025年7月6日(日)15:00開演 指定席 一般4,500円 友の会会員4,050円 学生(25歳以下)1,500円
出演 郷古廉、石上真由子(ヴァイオリン)、大野若菜(ヴィオラ)、水野優也(チェロ)

■あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール開館30周年記念

「偉大なる3人のコンサートマスター」 NHK交響楽団コンサートマスター 郷古廉

2025年11月15日(土)15:00開演 指定席 一般5,000円 友の会会員4,500円 学生(25歳以下)1,500円
出演 郷古廉(ヴァイオリン)、沼沢淑音(ピアノ)

■レクチャーコンサートシリーズ36 ピアノ三重奏の歴史 vol.3 [7月発売予定](#)

2025年12月20日(土)15:00開演 指定席 一般4,000円 友の会会員3,600円 学生(25歳以下)1,000円
出演 郷古廉(ヴァイオリン)、水野優也(チェロ)、水谷友彦(ピアノ)、松井拓史(レクチャー)

郷古廉(ごうこ・すなお/ヴァイオリン) ソリストとN響第1コンサートマスター、二刀流で音楽を極めるヴァイオリニスト。2013年ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとりである。1993年、宮城県多賀城市生まれ。2006年第11回ユーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門において史上最年少で優勝。2007年12月のデビュー以来、各地のオーケストラと共演。2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んだ。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。ジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。2024年4月よりNHK交響楽団第1コンサートマスターに就任。2025年1月よりみやぎ絆大使に就任。

ザ・フェニックスホール友の会先行予約	一般発売
2025 5/10 ± 10:00受付開始	2025 5/16 金 10:00受付開始

インターネット予約、ご来店によるお申込みは5月19日(月)10:00から！
*発売日初日は、電話予約のみのお申込みとなります。

Osaka Guitar Summer 2025



ザ・フェニックスホールがお届けする真夏のギターの祭典・大阪ギターサマー。日本を代表する福田進一さんとパラグアイ出身、ラテン・グラミー賞受賞の女性ギタリスト ベルタ・ロハスさんの演奏会をメインに据え、若きギタリストの「公開マスタークラス」や愛好者による「ギターアンサンブル」の演奏を披露するなど、クラシックギターの魅力を満喫できる内容でお贈りします。今年の修了コンサートには、過去に何度も公開マスタークラスを受講し、今やプロとしてご活躍の閑喜弦介さんを特別ゲストとしてお迎えいたします。

	12:30	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
8/30 ±	開場	マスタークラス①	休憩	マスタークラス②	休憩	修了コンサート	
	※1日通し券で「公開マスタークラス」「修了コンサート」の両方をご鑑賞いただけます。マスタークラス終了後の入れ替えはありません。						
8/31 日				開場	福田進一&ベルタ・ロハス ジョイントリサイタル		
				※途中で休憩があります。			

2025 8/30± 公開マスタークラス 聴講&修了コンサート

自由席 1日通し券 ¥1,500(友の会会員¥1,350)

※1枚のチケットで「公開マスタークラス聴講」「修了コンサート」の両方をご鑑賞いただけます。なお、公開マスタークラス終了後の入れ替えはありません。

公開マスタークラス

13:00開始 自由席

①13:00～14:10

講師 福田進一
受講生 坂上颯亮



②14:25～15:35

講師 ベルタ・ロハス 通訳:岩崎慎一
受講生 綾田日向子

修了コンサート

16:00開演 自由席

■出演
公開マスタークラス受講生
アンサンブルワークショップ受講生
(以上ギター)

特別ゲスト:閑喜弦介(ギター)
(ギター/2011、12、14、19年公開マスタークラス受講生)



■プログラム

- 第1部 アンサンブルワークショップ受講生による演奏
曲目 クレンジャンス:4つの方位
- 第2部 公開マスタークラス受講生による演奏(約30分)
曲目 公開マスタークラス受講曲ほか
- 第3部 閑喜弦介 ギターリサイタル(約40分)
J.S.バッハ:チェロ組曲 第3番より 抜粋
ラヴェル:弦楽四重奏曲 ヘ長調より 第1楽章

2025 8/31日 <福田進一と仲間たち vol.14> 福田進一&ベルタ・ロハス ジョイントリサイタル

15:00開演
指定席

一般 ¥4,500(友の会会員¥4,050)
学生(25歳以下) ¥1,500



共鳴する弦、豊潤な時空間

■出演 福田進一、ベルタ・ロハス(ギター)

■曲目
【ソロ/福田進一】
J.P.マルティーニ(R.ディアンス編):愛の喜び
A.カリージョ(A.ディアス編):星の涙のように
見岳章(福田進一編):川の流れのように ほか

【ソロ/ベルタ・ロハス】
I.プレスティ:セゴビア(1962)
S.アサド:アニードの肖像(ベルタ・ロハスに献呈/日本初演)
A.バリオス:3つのパラグアイ舞曲 ほか

【デュオ】
E.ナザレス:オデオン
C.アギーレ:灰色のミロンガ ほか

お待ちしております！

ザ・フェニックスホール友の会先行予約	一般発売
2025 5/10 ± 10:00受付開始	2025 5/16 金 10:00受付開始

*発売日初日は、電話予約のみのお申込みとなります。

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール開館30周年記念 「偉大なる3人のコンサートマスター」

2025 **6/28**±

世界最高峰オーケストラの心臓、
熱きその鼓動

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター
フォルクハルト・シュティデ



■出演 フォルクハルト・シュティデ(ヴァイオリン)
三輪郁(ピアノ)

■曲目 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ ホ短調 K.304
ドヴォルジャーク:
4つのロマンティックな小品 op.75, B.150
フランク:ヴァイオリンソナタ イ長調
ラヴェル:ツィガース ほか

15:00開演
指定席

一般 5,000円(友の会会員4,500円)
学生(25歳以下) 1,500円

2025 **10/1**水

超弩級のスケール感、
武道館を満席にした男

神奈川フィルハーモニー管弦楽団&
京都市交響楽団コンサートマスター
石田泰尚



■出演 石田泰尚(ヴァイオリン)、岡本知也(ピアノ)

■曲目 モーツァルト:
ヴァイオリンソナタ 第25番 ト長調 K.301(293a)
フォーレ:ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 op.13
スメタナ:わが故郷より
ブラームス:F.A.Eソナタ 第3楽章
ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第3番 ニ短調 op.108

19:00開演
指定席

一般 5,000円(友の会会員4,500円)
学生(25歳以下) 1,500円

2025 **11/15**±

鋭く、深く、
しなやかに時代を解き放つ疾風

NHK交響楽団コンサートマスター
郷古廉



■出演 郷古廉(ヴァイオリン)、沼沢淑音(ピアノ)

■曲目 ショスタコーヴィチ
(ツィガーノフ/アウエルバハ編):
24の前奏曲 op.34(ヴァイオリンとピアノ版)
ショスタコーヴィチ:ヴァイオリンソナタ op.134

15:00開演
指定席

一般 5,000円(友の会会員4,500円)
学生(25歳以下) 1,500円

チケットのご予約、窓口でのご購入

ザ・フェニックスホール チケットセンター
(あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8階)

TEL 06-6363-7999

営業時間:10:00～17:00 休業日:土・日・祝日

*土曜日が発売日の場合は、電話受付のみの営業となります。

ご予約後の手続き



ご来店でお引き取り

10日以内に当店ください。
窓口では、キャッシュレス決済にご協力をお願いいたします。

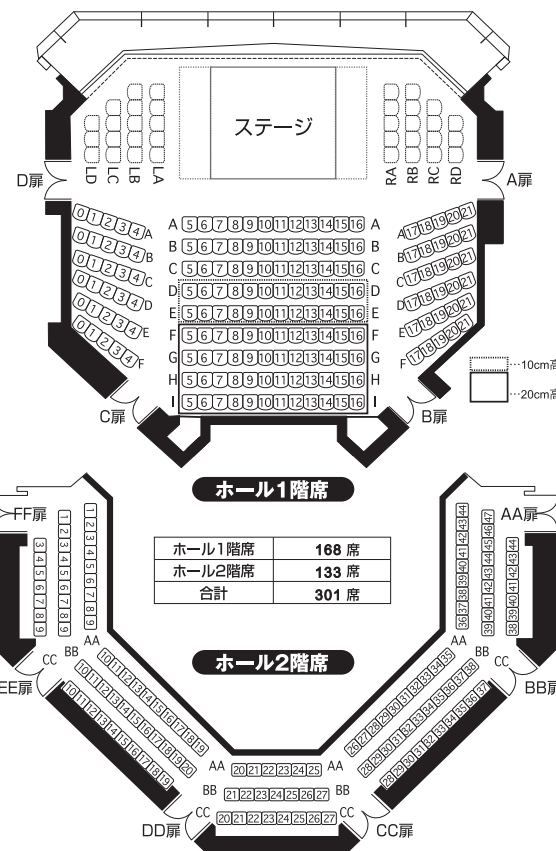


郵便局よりお振り込み

ご予約後、10日以内にお振込みください。

ご入金確認後、2週間程度でご自宅へお届け。
簡易書留で発送 送料470円と振込手数料はお客様ご負担となります。

口座番号 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール



Pick Up



あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
開館30周年記念特集

The Phoenix Hall 30th Anniversary



開館した1995年の主な出来事

- ・1月17日阪神淡路大震災が発生
- ・総理大臣は村山富市
- ・日経平均株価は年末にかけ約18,000円に下落。円高が進み1ドル80円まで上昇
- ・プロ野球 オリックス・ブルーウェーブが、パシフィック・リーグ優勝
- ・1995年生まれの子の主なアーティストは角野隼斗・小林愛実・山根一仁など



◀建設中のザ・フェニックスホール
(2階席より舞台を撮影)

ザ・フェニックスホールのオープニングコンサート

1995年5月13日(土) 18:00開演
澤和樹弦楽四重奏団による
「フェニックス・エヴォリューション in OSAKA」



■出演
澤和樹弦楽四重奏団：澤和樹、大関博明(ヴァイオリン)、市坪俊彦(ヴィオラ)、林俊昭(チェロ)
児玉桃(ピアノ)、鈴木豊人(クラリネット)、猶井正幸(ホルン)、星野則雄(ファゴット)、奥田一夫(コントラバス)

■プログラム
野田燦：フェニックス・エヴォリューション(委嘱作品)
ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲 イ長調 op.81
ベートーヴェン：七重奏曲 変ホ長調 op.20



ザ・フェニックスホール
オープニングシリーズ
プログラム
5.13. ~ 6.16.

開館以来2025年3月までの公演数と入場者数

公演数 5,736 公演
入場者数 1,204,981 名

多くのお客さまに支えられ
30周年を迎えることができました。
今後もザ・フェニックスホールを
よろしくお願いします。

5月3日
より
リニューアルオープン！
お待たせしました。

スタインウェイのピアノをオーバーホールしました。
音色の違いにお気づきになられるでしょうか？



あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛・協力公演のご案内

公演により割引枚数などに制限があります。ご購入時にお問合わせください。

2025 7/9 水 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”
伊藤 恵 ピアノ・リサイタル 2025
オール・ベートーヴェン・プログラム

■出演
伊藤恵(ピアノ)

■曲目
ベートーヴェン：
ピアノソナタ 第7番 二
長調 op.10-3、第17番
二短調「テンペスト」
op.31-2、第25番ト長調
op.79 ほか

19:00開演
指定席 前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500)
※友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

2025 7/11 金 ウェルズ弦楽四重奏団
—Trajectory—

■出演
崎谷直人、三原久遠(ヴァイオリン)
横溝耕一(ヴィオラ)、富岡康太郎(チェロ)

■曲目
武満徹：ア・ウェイ・ア・ローン
ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 op.10 ほか

19:00開演
指定席 プレミアムシート ¥6,000(友の会会員¥5,400)
A席 ¥5,000(友の会会員¥4,500)

協賛公演 主催 合同会社Moon 発売中

2025 7/20 日 トリオ・スペリオール vol.5
～不滅の恋人への手紙～

■出演
泉原隆志(ヴァイオリン)、上森祥平(チェロ)
佐藤卓史(ピアノ)、和田沙織(朗読)

■曲目
ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第5番 二長調「幽霊」op.70-1
ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調「大公」op.97 朗読と共に ほか

14:00開演
指定席 前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500)
※友の会割引は前売のみ。限定数。お一人様2枚まで。

協賛公演 主催 Concerto di Primavera
(コンチェルト・ディ・プリマヴェーラ) 5/12(月) 発売

2025 7/22 火 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”
フィリップ・トンドゥル(オーボエ)

■出演
フィリップ・トンドゥル(オーボエ)
上野絵理子(ピアノ)

■曲目
サン＝サーンス：オーボエとピアノのためのソナタ op.166
ブーランク：オーボエとピアノのためのソナタ FP185 ほか

19:00開演
指定席 前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500)
※友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

2025 7/27 日 多川響子ピアノリサイタル
～オール ショパン プログラム～

■出演
多川響子(ピアノ)

■曲目
ショパン：
バラード 全4曲、ポロ
ネーズ 第7番「幻想」
op.61、夜想曲 第7番
op.27-1、第8番 op.27-2

14:00開演
自由席 一般前売 ¥4,000(友の会会員¥3,600)
一般当日 ¥4,500(友の会会員¥4,000)
学生前売 ¥2,000 学生当日 ¥2,500

協賛公演 主催 Office TAGAWA 発売中

2025 7/28 月 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka”
“ザ・ピアノカルテット・セレクションズ”

■出演
松浦奈々(ヴァイオリン)、小峰航一(ヴィオラ)
北口大輔(チェロ)、西岡沙樹(ピアノ)

■曲目
モーツァルト：ピアノ四重奏曲 変ホ長調 K.493
フォーレ：ピアノ四重奏曲 短調 op.15 ほか

19:00開演
指定席 前売・当日 ¥6,000(友の会会員¥5,400)
※友の会割引は前売のみ。限定数。

協賛公演 主催 コジマ・コンサートマネジメント 発売中

2025 7/30 水、31 木 関西二期会サロンオペラ
第22回歌劇『ポッペアの戴冠』

■出演
指揮：森香織、ステージング：前川
裕介、キャスト：山口慧、しま
ふく羊太、瀬戸口文乃、四方
典子、根本滋、山咲響ほか

■演目
C.モンテヴェルディ(G.F.ブゼ
ネッロ台本)：『ポッペアの戴
冠』

19:00開演
自由席 前売・当日 ¥3,500(友の会会員¥3,150)

協賛公演 主催 公益社団法人関西二期会 5/7(水) 発売

2025 8/1 金 曾根麻央 meets 三浦一馬
Latin × Tango

■出演
曾根麻央(ピアノ)、トランペット、作曲)
三浦一馬(バンドネオン)、KAN(パーカッション)

■曲目
曾根麻央：「8つの小品」より「ルンバ」(新作)
ピアニソ：リベルタンゴほか

19:00開演
指定席 プレミアムシート ¥6,000(友の会会員¥5,400)
A席 ¥5,000(友の会会員¥4,500)

協賛公演 主催 合同会社Moon 発売中

2025 8/22 金 Marty Friedman Plays Piazzolla And More
—Concert Hall 2025

■出演
マーティ・フリードマン
(ギター)、三浦一馬(バ
ンドネオン)、曾根麻央
(ピアノ)

■曲目
ピアソラ：
アディオス・ノニーノ、
リベルタンゴ、敍 ほか

19:00開演
指定席 プレミアムシート ¥12,000(友の会会員¥10,800)
A席 ¥8,000(友の会会員¥7,200)

協賛公演 主催 合同会社Moon 5/19(月) 発売

2025 7/13 日 NPO法人関西音楽人クラブ～始まりは恐怖だった～
秘められた怖さを知れば暑さも吹っ飛ぶ
「納涼コンサート」Vol.4

■出演
小川友子(プロデュース・ピアノ)
植田味香子、宇田津典子、川谷木綿子、北一恵、栗林萌華、松
村美知子(ピアノ)、杉原真理子(ソプラノ)、小森谷巧(ヴァイオ
リン)、南方美穂(クラリネット)、重本千晴(フルート)、摩数意
英子(ハープ) ほか

■曲目
スクリャービン：幻想曲短調op.28、ラヴェル：
「鏡」より“鏡”、“悲しい鳥たち”、猪木隆：ゆうれい屋敷(川崎大
治作詞)、リスト：ローレライ、モーツァルト：ヴァイオリンソナ
タ短調K.304、サン＝サーンス：タランテラop.6、ヒンデミッ
ト：ハーブソナタ ほか ※音と絵のコラボレーション

15:00開演
自由席 前売 ¥3,500(友の会会員¥3,150)
当日 ¥4,000(友の会会員¥3,600)

協力公演 主催 NPO法人関西音楽人クラブ 5/12(月) 発売

2025 8/2 土、3 日 サマーミュージック
フェスティバル大阪2025
《選り取り見取りの千葉万紅》

■出演
構成・監修/小味潤彦之 案内役/平橋佳代子
木下たまみ、丸山耕路、湊谷亜由美、松本昌敏、内藤雪子、市
川未来、小笠原順子、長谷智子、添田ゆみ、松村英臣、松村敬
子(ピアノ)、川下由理、平井満美子(ソプラノ)、ギョルギ・バ
ブアゼ、土井美佳、金岡環、佐野智子(ヴァイオリン)、大町剛、
日野俊介(チェロ)、佐野健二(リュート)、山本ありさ、谷口美
香(フルート)、藤村匡人(バリトン)、エンギ(中国琵琶) ほか

■曲目
ラヴェル：ピアノ三重奏曲、ソナチネ、「クープランの
墓」、ラロ：ピアノ三重奏曲 第1番、シマノフスキ：ノクターンと
タランテラ、ショスタコヴィチ：「5つの小品」、チェロソナタ、
サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーン ほか

17:00開演
自由席 前売 ¥4,000(友の会会員¥3,600)
当日 ¥4,500(友の会会員¥4,000)
学生[4歳～高校生] ¥2,000

協力公演 主催 大阪アーティスト協会 5/12(月) 発売

詳細は公演チラシか
ホールホームページで
ご確認ください。



永遠のあこがれ、ラヴェル

—美しいものを愛し続けた作曲家

「なんてキラキラしてるんだろう!!」…あまりにも幼稚な言葉で大変恐縮なのだが、これは私がはじめてモーリス・ラヴェル(1875-1937)の作品を聴いたときに抱いた感想である。音大の附属中に入って間もない頃だったと思う。どなたのリサイタルだったかは失念してしまったが、ピアノ曲集《夜のガスパール》の第1曲〈オンディーヌ〉を聴いたときの衝撃はいまでも鮮やかに浮かび上がってくる。触れたら割れてしまいそうなほど繊細なガラス細工のような和声の響き、そのうつろいゆくさまに一瞬にして魅了されてしまった。同時に、続く〈絞首台〉の張りつめた空気感、〈スカルボ〉の華麗さと仄暗さのコントラストにも圧倒されたのであった。それからというもの、CDでいろいろな曲を聴き、ときには音の多さに苦しみながら譜読みしてみたり…という日々が続いた。折に触れて彼の曲を弾く機会はあったが、とくに学部の卒業試験や大学院入試で弾いた《スペイン狂詩曲》(ルシアン・ガルバン編曲)にはたくさんの思い出が詰まっている。もちろん、いまでも弾きたい曲がたくさんあり、私にとって彼は憧れてやまない作曲家である。

2025年に生誕150周年を迎えたラヴェル。好きな作曲家の話題になると必ずといっていいほど名前が挙がり、読者のみなさまのなかにもファンは多いはずだ。そしてお気に入りの曲、あこがれの曲もたくさんあるだろう。管弦楽曲《ボレロ》やバレエ音楽《ダフニスとクロエ》、ピアノ協奏曲ト長調など、数多くの名曲を遺しており、その管弦楽法の巧みさ、緻密さから「管弦楽法の魔術師」や「スイスの時計職人」と呼ばれている。

そんなラヴェルの音楽性は暮らしにもあらわれている。1917年、母が亡くなったことを機にパリから離

れた小さな田舎街モンフォール＝ラモリにある家に移り住んだ彼は、7年かけて増築や改築を繰り返し、冷蔵庫や無線機をアメリカから輸入するなど、徹底したこだわりによって自分の城を作り上げていった。さらに、小さなおもちゃや置物なども数多く所有。ラヴェルの作品の細部までこだわりぬかれた構造や精妙なハーモニー、美しく心を魅了する旋律がこのような環境から生み出されていったのだということがよくわかる。

大規模な管弦楽作品に代表曲が多いラヴェルだが、繊細なものを愛したラヴェルの気質はピアノ曲においても余すことなく発揮されている。すでに述べた《夜のガスパール》はもちろんだが、7月24日にザ・フェニックスホールで行われる「パスカル・ロジェピアノリサイタル」で演奏される《亡き王女のためのパヴァーヌ》に《ソナチネ》、そして《鏡》はガラス細工や水のきらめきを思わせるラヴェルのハーモニーの美しさやオーケストラの色彩豊かな響き、想像力を掻き立てる世界観が詰まった作品である。ピアノという楽器の可能性を最大限に引き出し、聴く者をおとぎ話、あるいは夢のような世界へと誘ってくれる。

パスカル・ロジェは卓越したピアニストであり、正確無比で鮮やかな技術とニュアンスに富んだ音色、ドラマにあふれた音楽づくりが魅力。実は私がはじめてラヴェルの音楽をCDで聴いたときの演奏も彼のものであった。今回のリサイタル、ご来場される多くの方がラヴェルの作品やロジェの演奏のファンだと思うが、子供時代の私のようにはじめてラヴェルの音楽に触れるという方もいるかもしれない。彼が奏でるラヴェル、そして同時代を生きたドビュッシーの作品は、当日会場を訪れる皆様に間違いなく最高の時間を提供してくれることであろう。



長井進之介(ながい しんのすけ) ピアニスト、音楽ライター

国立音楽大学大学院修士課程器楽専攻(伴奏)修了を経て、同大学院博士後期課程音楽学領域単位取得。在学中、カールスルーエ音楽大学に交換留学。アンサンブルを中心にコンサートやレコーディングを行いながら、2007年度(柴田南雄音楽評論賞)奨励賞受賞を機に音楽ライターとして活動を開始。著書に『OHASHI いい音をいつまでも一幻の国産ピアノ“オオハシ”を求めて』(創英社/三省堂書店)など。群馬大学教育学部音楽教育講座非常勤講師および国立音楽大学大学院伴奏助手、インターネットラジオ番組「OTTAVA Fresca」木曜日プレゼンターも務めている。



発行年月 2025年5月
発行 あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール
編集 谷昌則
デザイン 松井桂三有限会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4丁目15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211